数の 大小の くらべ方

中1／解き方プリント 項目2／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 数直線で 右に ある 数ほど 大きい。負の 数は 絶対値が 大きい ほど 小さい

きまり② 小数と 分数は 小数か 通分で そろえて くらべる。「大きい順」と「絶対値の 大きい順」は ちがう

れい −10 と −1 では、数直線で 右に ある −1 の ほうが 大きい

(○) $-8 < -3$　　(×) $-8 > -3$

・答えを 四角に 書く。−（マイナス）を 省かない。分数は 約分する。○で かこむ 問題は 1つ だけ かこむ。
・大問4(2)は 数を「, 」で 区切って 書く。
・大小を 数直線で 考えて くらべる。
・大問5は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答え（不等号の 式ぜんたい）を、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 2つの 数の 大小

(1) **−9 と −4 の 大きい 方を ○で かこむ**

−9　　−4

(2) **−3.5 と −0.8 の 小さい 方を ○で かこむ**

−3.5　　−0.8

大問2 小さい 順に 並べる

(1) **−6, 2, −4 を 小さい 順に 不等号で つなぐ**

(2) **$-0.5, -\frac{1}{3}, 0$ を 小さい 順に 不等号で つなぐ**

大問3 小数と 分数を くらべる

(1) **$-\frac{3}{4}$ と −0.7 の 大きい 方**

(2) **$-\frac{1}{4}$ と −0.3 の 小さい 方**

大問4 順に 並べる

(1) **3, −7, −2 を 大きい 順に 不等号で つなぐ**

(2) **3, −7, −2 を 絶対値の 大きい 順に 書く**

大問5 答案を 調べて 直す

(1) **「−6 と −2 は、$-6 > -2$」**

正しい　　まちがい

正しい答え

(2) **−5, 1, −2 を 小さい 順に**
「$-5 < -2 < 1$」

正しい　　まちがい

正しい答え

見直し ☐ 負の 数は 数直線で 右ほど 大きい ☐ 小数に そろえた ☐ 大小か 絶対値か 読んだ まちがい（ ）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

大小を 選ぶ ドリル①

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目2 ①（選ぶ）／目標 10分

・大問1・2・4(1)(3)は、答えの 数を 1つ だけ ○で かこむ。
・大問3と 大問4(2)は、□に 入る 不等号を 1つ だけ ○で かこむ。分数は 小数に 直して くらべても よい。
大小を 数直線で 考えて くらべる。

大問1 2つの 数の 大小

(1) **−8 と −3 の 大きい 方を ○で かこむ**

(−8) (−3)

(2) **−2.5 と −6 の 小さい 方を ○で かこむ**

(−2.5) (−6)

(3) **−0.4 と −0.9 の 大きい 方を ○で かこむ**

(−0.4) (−0.9)

(4) **0 と −7 の 小さい 方を ○で かこむ**

(−7) (0)

大問2 いちばん 大きい・小さい 数

(1) **いちばん 小さい 数を ○で かこむ**

(−1.5) (2) (−4)

(2) **いちばん 大きい 数を ○で かこむ**

(−3) (−0.2) (−5)

大問3 不等号を 選ぶ

(1) **−9 □ −2**

(>) (<)

(2) $-\frac{1}{2}$ □ $-\frac{1}{3}$

(<) (>)

(3) **−0.6 □** $-\frac{2}{3}$

(<) (>)

(4) $\frac{3}{4}$ □ **0.8**

(<) (>)

大問4 小数と 分数を まぜて くらべる

(1) **−0.5 と −0.8 の 大きい 方を ○で かこむ**

(−0.5) (−0.8)

(2) $-\frac{5}{6}$ □ **−0.8**

(<) (>)

(3) **いちばん 小さい 数を ○で かこむ**

(0) (−0.1) (−0.6)

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

順に 並べて 書く ドリル②

中1／ドリル 項目2 ②（書く）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・大問1は、数を 指定の 順に 不等号で つないで 四角に 書く（例 $-5 < 1$）。
・大問2は、大きい 方・小さい 方の 数を 四角に 書く。問題に ある 数の 形（分数は 分数）で 答え、分数は 約分する。 大小を 数直線で 考えて くらべる。

大問1 順に 並べる

(1) $-3, 0, -1, 2$ を 小さい 順に 不等号で つなぐ

(2) $-0.8, 0.5, -1.2$ を 大きい 順に 不等号で つなぐ

(3) $-5, 4, -9, 1$ を 小さい 順に 不等号で つなぐ

(4) $0, -2.5, -0.5$ を 大きい 順に 不等号で つなぐ

大問2 小数と 分数を くらべる

(1) $-\frac{2}{3}$ と -0.6 の 大きい 方

(2) $-\frac{1}{5}$ と $-\frac{1}{4}$ の 小さい 方

(3) $-\frac{4}{5}$ と -0.75 の 大きい 方

(4) $-\frac{1}{6}$ と -0.2 の 小さい 方

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

順序を 読みわける ドリル③

中1／ドリル 項目2 ③（逆向き）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・大問1は、問題文の 絶対値の 順に 数を 「,」で つないで 四角に 書く。
・大問2は、□に あてはまる 整数を すべて 四角に 書く（「,」で 区切る）。
・大問3は、問題文の 大小の 順に 不等号で つないで 四角に 書く。−（マイナス）を 省かない。 大小を 数直線で 考えて くらべる。

大問1 絶対値の 順に 書く

(1) $-4, 2, 9, -6$ を 絶対値の 大きい 順に 書く

(2) $-0.5, 1.5, -3$ を 絶対値の 小さい 順に 書く

(3) $5, -8, 3, -1$ を 絶対値の 大きい 順に 書く

大問2 □に あてはまる 整数

(1) $-4 < □ < 1$ に あてはまる 整数を すべて 書く

(2) $-\frac{5}{2} < □ < 2$ に あてはまる 整数を すべて 書く

(3) $-1 < □ < 4$ に あてはまる 整数を すべて 書く

大問3 大小の 順に 書く

(1) $-4, 2, 9, -6$ を 大きい 順に 不等号で つなぐ

(2) $5, -8, 3, -1$ を 小さい 順に 不等号で つなぐ

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

大小の 答案を 直す ドリル④

中1／ドリル 項目2 ④（直す）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・大小の 答案 A〜F を 読み、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこむ。
・四角には、まちがいの 答案なら 正しい 答え（不等号の 式ぜんたい）を、正しい 答案なら「同じ」と 書く。 大小を 数直線で 考えて くらべる。

大問1 答案を 調べる

A 「-7 と -3 は、$-7 > -3$」

正しい　まちがい

正しい答え

B $-4, 0, -1$ を 小さい 順に
「$-4 < -1 < 0$」

正しい　まちがい

正しい答え

C 「-0.5 と $-\frac{1}{3}$ は、$-0.5 < -\frac{1}{3}$」

正しい　まちがい

正しい答え

D $3, -6, -2$ を 小さい 順に
「$-2 < 3 < -6$」

正しい　まちがい

正しい答え

E 「-0.2 と -0.5 は、$-0.2 > -0.5$」

正しい　まちがい

正しい答え

F $-3, 2, -1.5$ を 小さい 順に
「$-1.5 < -3 < 2$」

正しい　まちがい

正しい答え

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

数の 大小 ドリル⑤

中1／ドリル 項目2 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿ /25

・全部で 25点・15分。答えは 四角に、大問4の 説明は、自分の ことばで 枠に 書く。○で かこむ 問題は 1つ かこむ。－（マイナス）を 省かない。 大小を 数直線で 考えて くらべる。
・大問3は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答え（不等号の 式ぜんたい）を、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 選ぶ

各2点（6点）

(1) **−12 と −5 の 大きい 方を ○で かこむ**

−5　　−12

(2) $-\frac{3}{5}$ □ **−0.5**

＞　　＜

(3) **いちばん 小さい 数を ○で かこむ**

−0.7　　0.3　　−2

大問2 書く

各3点（9点）

(1) **−2, 5, −7, 0 を 小さい 順に 不等号で つなぐ**

(2) **−6, 3, −9, 4 を 絶対値の 大きい 順に 書く**

(3) **−3 ＜ □ ＜ 2 に あてはまる 整数を すべて 書く**

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) **「−11 と −6 は、−11 ＞ −6」**

正しい　　まちがい

正しい答え

(2) **−4, 3, −7 を 小さい 順に**
「−7 ＜ −4 ＜ 3」

正しい　　まちがい

正しい答え

大問4 説明

6点

−3 と −1 では どちらが 大きいか。
「数直線」と「絶対値」の 語を 使って 理由を 説明しなさい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

数の 大小の くらべ方【こたえ】

中1／解き方プリント 項目2／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 数直線で 右に ある 数ほど 大きい。負の 数は 絶対値が 大きい ほど 小さい

きまり② 小数と 分数は 小数か 通分で そろえて くらべる。「大きい順」と「絶対値の 大きい順」は ちがう

れい −10 と −1 では、数直線で 右に ある −1 の ほうが 大きい

◯ $-8 < -3$　　× $-8 > -3$

大問1 2つの 数の 大小

(1) **−9 と −4 の 大きい 方を ○で かこむ**

−9　(−4)

(2) **−3.5 と −0.8 の 小さい 方を ○で かこむ**

(−3.5)　−0.8

大問2 小さい 順に 並べる

(1) **−6, 2, −4 を 小さい 順に 不等号で つなぐ**

$-6 < -4 < 2$

(2) **$-0.5, -\frac{1}{3}, 0$ を 小さい 順に 不等号で つなぐ**

$-0.5 < -\frac{1}{3} < 0$

大問3 小数と 分数を くらべる

(1) **$-\frac{3}{4}$ と −0.7 の 大きい 方**　-0.7

(2) **$-\frac{1}{4}$ と −0.3 の 小さい 方**　-0.3

大問4 順に 並べる

(1) **3, −7, −2 を 大きい 順に 不等号で つなぐ**

$3 > -2 > -7$

(2) **3, −7, −2 を 絶対値の 大きい 順に 書く**

$-7, 3, -2$

大問5 答案を 調べて 直す

(1) **「−6 と −2 は、−6 > −2」**

正しい　(まちがい)

正しい答え　$-6 < -2$

(2) **−5, 1, −2 を 小さい 順に**
「−5 < −2 < 1」

(正しい)　まちがい

正しい答え　同じ

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) を −9 に したら 負の 数を 数字の 大きさで くらべている。−9 と −4 では −4 が 大きい。(2) は −3.5 が 小さい。

大問2 (1) は $-6 < -4 < 2$、(2) は $-0.5 < -\frac{1}{3} < 0$（$-\frac{1}{3} = -0.33\cdots$）。分数の 答えは 上下でも 斜め線でも ○。

大問3 (1) $-\frac{3}{4} = -0.75$ なので −0.7 の ほうが 大きい。(2) $-\frac{1}{4} = -0.25$ なので −0.3 の ほうが 小さい。

大問4･5 (1) 大きい順は $3 > -2 > -7$、(2) 絶対値の 大きい順は −7, 3, −2。5(1) は 答案 $-6 > -2$ が まちがい（正しくは $-6 < -2$）。5(2) は $-5 < -2 < 1$ で 正しい。

大小を 選ぶ ドリル①【こたえ】

中1／ドリル 項目2 ①（選ぶ）／目標 10分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1 2つの 数の 大小

(1) **−8 と −3 の 大きい 方を ○で かこむ**

−8　**−3**

(2) **−2.5 と −6 の 小さい 方を ○で かこむ**

−2.5　**−6**

(3) **−0.4 と −0.9 の 大きい 方を ○で かこむ**

−0.4　−0.9

(4) **0 と −7 の 小さい 方を ○で かこむ**

−7　0

大問2 いちばん 大きい・小さい 数

(1) **いちばん 小さい 数を ○で かこむ**

−1.5　2　**−4**

(2) **いちばん 大きい 数を ○で かこむ**

−3　**−0.2**　−5

大問3 不等号を 選ぶ

(1) **−9 □ −2**

>　**<**

(2) $-\frac{1}{2}$ □ $-\frac{1}{3}$

<　>

(3) **−0.6 □** $-\frac{2}{3}$

<　**>**

(4) $\frac{3}{4}$ □ **0.8**

<　>

大問4 小数と 分数を まぜて くらべる

(1) **−0.5 と −0.8 の 大きい 方を ○で かこむ**

−0.5　−0.8

(2) $-\frac{5}{6}$ □ **−0.8**

<　>

(3) **いちばん 小さい 数を ○で かこむ**

0　−0.1　**−0.6**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) −3、(2) −6、(3) −0.4、(4) −7。負の 数は 数字が 小さい ほど 大きい（絶対値が 小さい ほど 大きい）。0 は 負の 数より 大きい。

大問2 (1) は −4、(2) は −0.2。負の 数が まじる ときは 数直線を 思いうかべる。

大問3 (1) −9 < −2 (2) $-\frac{1}{2} < -\frac{1}{3}$（−0.5 < −0.33…） (3) −0.6 > $-\frac{2}{3}$（−0.67） (4) $\frac{3}{4}$ < 0.8（0.75 < 0.8）。

大問4 (1) は −0.5、(2) $-\frac{5}{6}$ = −0.83… < −0.8 なので「<」、(3) は −0.6。

別解の 扱い：分数は 上下でも 斜め線でも ○（約分してあること）。小数も ○。+ と 単位は なくても ○。

順に 並べて 書く ドリル②【こたえ】

中1／ドリル 項目2 ②（書く）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1 順に 並べる

(1) **$-3, 0, -1, 2$ を 小さい 順に 不等号で つなぐ**

$-3 < -1 < 0 < 2$

(2) **$-0.8, 0.5, -1.2$ を 大きい 順に 不等号で つなぐ**

$0.5 > -0.8 > -1.2$

(3) **$-5, 4, -9, 1$ を 小さい 順に 不等号で つなぐ**

$-9 < -5 < 1 < 4$

(4) **$0, -2.5, -0.5$ を 大きい 順に 不等号で つなぐ**

$0 > -0.5 > -2.5$

大問2 小数と 分数を くらべる

(1) $-\frac{2}{3}$ と -0.6 の 大きい 方 → -0.6

(2) $-\frac{1}{5}$ と $-\frac{1}{4}$ の 小さい 方 → $-\frac{1}{4}$

(3) $-\frac{4}{5}$ と -0.75 の 大きい 方 → -0.75

(4) $-\frac{1}{6}$ と -0.2 の 小さい 方 → -0.2

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) $-3 < -1 < 0 < 2$、(2) $0.5 > -0.8 > -1.2$、(3) $-9 < -5 < 1 < 4$、(4) $0 > -0.5 > -2.5$。不等号の 向きは 1問の 中で そろえる。

大問2 (1) $-\frac{2}{3} = -0.67\cdots$ なので -0.6 が 大きい。(2) $-\frac{1}{4} < -\frac{1}{5}$（$-0.25 < -0.2$）。(3) $-\frac{4}{5} = -0.8$ なので -0.75 が 大きい。(4) -0.2 が 小さい。

分数の 答えは 上下でも 斜め線でも ○（約分してあること）。小数に 直した 答えは ×（問題の 形で 答える）。

順序を 読みわける ドリル③【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目2 ③（逆向き）／目標 12分

大問1 絶対値の 順に 書く

(1) $-4, 2, 9, -6$ を 絶対値の 大きい 順に 書く

9, −6, −4, 2

(2) $-0.5, 1.5, -3$ を 絶対値の 小さい 順に 書く

−0.5, 1.5, −3

(3) $5, -8, 3, -1$ を 絶対値の 大きい 順に 書く

−8, 5, 3, −1

大問2 □に あてはまる 整数

(1) $-4 < □ < 1$ に あてはまる 整数を すべて 書く

−3, −2, −1, 0

(2) $-\frac{5}{2} < □ < 2$ に あてはまる 整数を すべて 書く

−2, −1, 0, 1

(3) $-1 < □ < 4$ に あてはまる 整数を すべて 書く

0, 1, 2, 3

大問3 大小の 順に 書く

(1) $-4, 2, 9, -6$ を 大きい 順に 不等号で つなぐ

9 > 2 > −4 > −6

(2) $5, -8, 3, -1$ を 小さい 順に 不等号で つなぐ

−8 < −1 < 3 < 5

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) 9, −6, −4, 2（絶対値は 9, 6, 4, 2）。(2) −0.5, 1.5, −3（絶対値の 小さい順）。(3) −8, 5, 3, −1。符号は 外さず 数を そのまま 書く。

大問2 (1) −3, −2, −1, 0。(2) $-2, -1, 0, 1$（$-\frac{5}{2} < □$）。(3) 0, 1, 2, 3。両はしは 入らない（(1) の −4 と 1、(3) の −1 と 4）。

大問3 (1) 9 > 2 > −4 > −6、(2) −8 < −1 < 3 < 5。大問1と 同じ 数でも 並びが ちがう。

別解の 扱い: 分数は 上下でも 斜め線でも ○（約分してあること）。小数も ○。+ と 単位は なくても ○。

大小の 答案を 直す ドリル④【こたえ】

中1／ドリル 項目2 ④（直す）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1 答案を 調べる

A 「−7 と −3 は、−7 > −3」

正しい　**まちがい**

正しい答え **−7 < −3**

B −4, 0, −1 を 小さい 順に

「−4 < −1 < 0」

正しい　まちがい

正しい答え **同じ**

C 「-0.5 と $-\frac{1}{3}$ は、$-0.5 < -\frac{1}{3}$」

正しい　まちがい

正しい答え **同じ**

D 3, −6, −2 を 小さい 順に

「−2 < 3 < −6」

正しい　**まちがい**

正しい答え **−6 < −2 < 3**

E 「−0.2 と −0.5 は、−0.2 > −0.5」

正しい　まちがい

正しい答え **同じ**

F −3, 2, −1.5 を 小さい 順に

「−1.5 < −3 < 2」

正しい　**まちがい**

正しい答え **−3 < −1.5 < 2**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

A は 負の 数を 数字の 大きさで くらべている（正しくは −7 < −3）。B は −4 < −1 < 0 で 正しい。C は $-0.5 < -\frac{1}{3}$（$-\frac{1}{3} = -0.33\cdots$）で 正しい。D は 途中で 向きが 変わっている（正しくは −6 < −2 < 3）。E は −0.2 > −0.5 で 正しい。F は 負の 数を 数字の 大きさで 並べている（正しくは −3 < −1.5 < 2）。

答えが「同じ」なら ○。分数の 答えは 上下でも 斜め線でも ○。

数の 大小 ドリル⑤【こたえ】

中1／ドリル 項目2 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿ /25

大問1 選ぶ

各2点（6点）

(1) −12 と −5 の 大きい 方を ○で かこむ

(−5) (−12)

(2) $-\frac{3}{5}$ □ −0.5

(>) (<)

(3) いちばん 小さい 数を ○で かこむ

(−0.7) (0.3) (−2)

大問2 書く

各3点（9点）

(1) −2, 5, −7, 0 を 小さい 順に 不等号で つなぐ

−7 < −2 < 0 < 5

(2) −6, 3, −9, 4 を 絶対値の 大きい 順に 書く

−9, −6, 4, 3

(3) −3 < □ < 2 に あてはまる 整数を すべて 書く

−2, −1, 0, 1

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) 「−11 と −6 は、−11 > −6」

(正しい) (まちがい)

正しい答え **−11 < −6**

(2) −4, 3, −7 を 小さい 順に

「−7 < −4 < 3」

(正しい) (まちがい)

正しい答え **同じ**

大問4 説明

6点

−3 と −1 では どちらが 大きいか。

「数直線」と「絶対値」の 語を 使って 理由を 説明しなさい。

−1 の ほうが 大きい。

数直線で −1 は −3 より 右に ある。

負の 数は 絶対値が 小さい ほど 大きい（−1 は 1、−3 は 3）。

（各2点：どちらが 大きいか・数直線の 位置・絶対値の くらべ）

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

1(1) は −5。1(2) は $-\frac{3}{5} = -0.6 < -0.5$ なので「<」。1(3) は −2。

2(1) は −7 < −2 < 0 < 5。2(2) は −9, −6, 4, 3（絶対値の 大きい順）。2(3) は −2, −1, 0, 1。

大問3(1) は −11 < −6 で まちがい。(2) は −7 < −4 < 3 で 正しい（「同じ」）。

大問4 は どちらが 大きいか・数直線の 位置・絶対値の くらべ の 3つで 採点（各2点）。